

# くずはの広場・かんさつガイド⑬



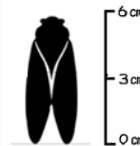
## セミ



くずはの広場には**6種類**のセミがいて、7月の月上旬から10月頃まで、にぎやかな声が聞かれます。幼虫は土の中で数年過ごし、夜に地上にはい出て羽化するのので、日没後から木の上で羽化する神秘的な様子を観察することができます。セミは体の様子や鳴き声、羽化した抜け殻にはそれぞれ特徴があります。

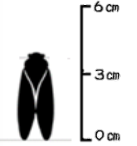
### はねが茶色または模様があるセミ

#### アブラゼミ



大きさ 5~6cm  
鳴き声 シリシリシリ… (同じ音程)

#### ニイニイゼミ



大きさ 3~4cm  
鳴き声 ニー (途中で音階変わる)

はねが茶色いセミで、くずはの広場では一番たくさん見られる。鳴き声は7月下旬から10月頃まで聞かれるが、その声がおで揚げ物をするときの音に似ていることから名がついたという説がある。

透明なはねの所々に黒い模様がついた小さなセミ。くずはの広場では一番早く7月上旬から鳴き始めるが、アブラゼミが鳴き始めると、鳴き声は聞き取れなくなる。

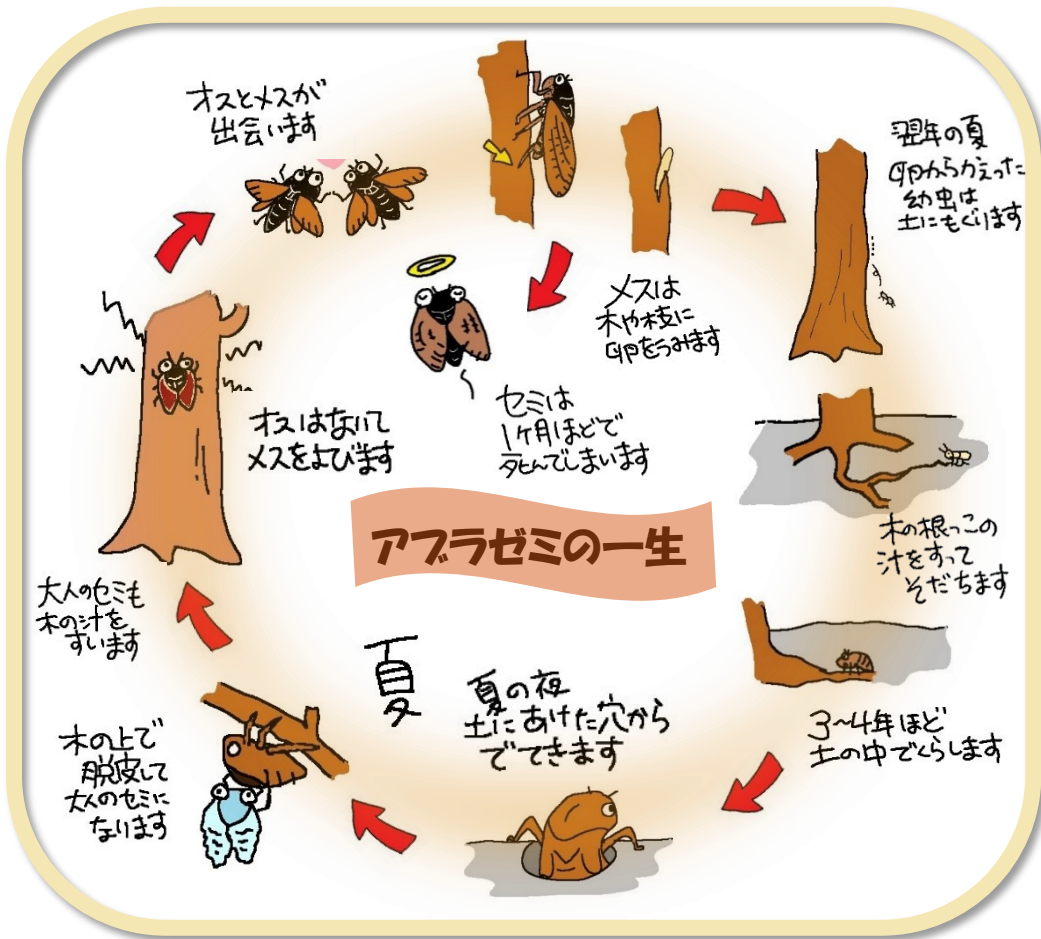
セミのからだ



**口の形**  
口は針のようになっている。口の付け根の膨らみには針状の口から木の汁を吸うための筋肉がつまっている。



**腹弁**  
オスはお腹の中に音を出す仕組みがあり、腹弁(ふくべん)で鳴き声を調節している。メスに大きな腹弁はない。



## セミの羽化を観察しよう！

毎年、夏休み自然教室の一環でセミの羽化観察会を行っています。夏の夜、普段は見られないセミの姿をじっくり観察してみませんか。



写真協力：平岡幼稚園(ツクツクボウシ) イラスト：阿木二郎、手塚真理  
参考文献：「NHK シチズンラボ」、「昆虫新版(学研の図鑑LIVE)」学研、「日本の昆虫1400」文一総合出版

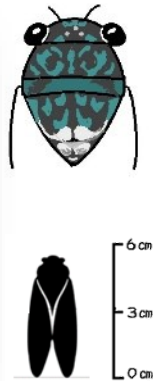
編集・発行：秦野市くずはの家 〒257-0031 秦野市首屋 1137 TEL:0463-84-7874

発行日：2024年3月31日

\*このリーフレットは公益財団法人かながわトラストみどり財団の助成金を活用して作成されました。

## はねが透明な大型のセミ

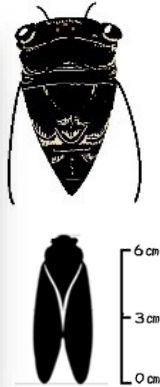
### ミンミンゼミ



大きさ 5~6cm  
鳴き声 ミーンミンミンミンミ...

黒い体に緑色の模様があるのが特徴。7月下旬から9月頃まで鳴き声が聞かれる。早朝から鳴き始め、森の中で聞かれることが多い。

### クマゼミ

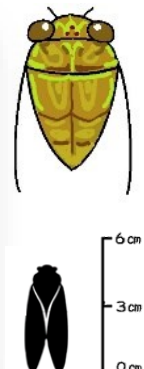


大きさ 6~7cm  
鳴き声 シャカシャカシャカ...  
(かき氷をかくような音)

黒い体の大きなセミ。南の地域から分布を広げ、くずの広場では2022年に初めてぬけ殻が発見され、繁殖が確認された。朝一番に鳴き始める。

## はねが透明な小さなセミ

### ヒグラシ



大きさ 4~5cm  
鳴き声 カナカナカナカナ...

赤茶色に緑色の模様がある小さなセミ。7月から9月頃まで鳴き声が聞かれる。森に住んでいて早朝や夕方、陽が陰って暗くなった時に物悲しい声で鳴き出す。

### ツクツクボウシ



大きさ 4~5cm  
鳴き声 オーシンツクツク...

グレーの体に緑色の模様がある小さなセミ。8月上旬から10月頃、6種類の中では一番最後に出現する。鳴き声特徴的で、昼頃から夕方まで鳴いている。

## ぬけ殻の見分け方

全体に泥がついている

YES



### ニイニイゼミ

全長 1.8~2.0cm  
全体が丸く、本来は赤茶色だが泥がついていて灰色をしている。木の低いところや草についていることが多い

触角の節の長さ



NO



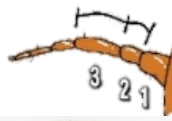
### ヒグラシ

全長 2.1~2.6cm  
赤茶色で光沢あり。触角は根元から数えて3番目より4番目の方が長い。林の中で見つかる



### ツクツクボウシ

全長 2.2~2.7cm  
薄茶色で光沢がなく平べったい。林の中で見つかる



触角の節の長さ



2.7~3.3 cm



## ぬけ殻の大きさ

### アブラゼミ

全長 2.8~3.3cm  
赤茶色で光沢あり。触角は太く根元から数えて2番目より3番目の方が長い。目の高さ以上の木の枝先や葉の裏につくことが多い

### ミンミンゼミ

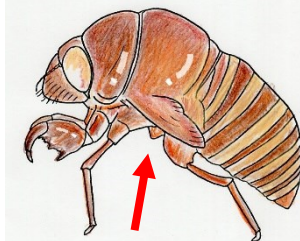
全長 2.7~3.0cm  
赤茶色で光沢あり。触角は細く根元から数えて2番目より3番目の方が短い。目の高さ以上の木の枝先や葉の裏につくことが多い

3.2 cm~

### オス・メスどっち?



産卵管



出っ張り

### クマゼミ

全長 3.2~3.9cm  
赤茶色で光沢あり。腹側の足のあいだにイボのような出っ張りがある。木の高いところの枝先や葉の裏についていることが多い